



2020年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月4日

上場会社名 株式会社中央経済社ホールディングス
 コード番号 9476 URL <http://www.chuokezai.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 憲央

問合せ先責任者 (役職名) 社長室 (氏名) 杉原 茂樹

TEL 03-3293-3371

四半期報告書提出予定日 2020年8月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第3四半期の連結業績(2019年10月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第3四半期	2,131	0.3	60		63		50	
2019年9月期第3四半期	2,137	5.6	3		2	95.1	2	

(注) 包括利益 2020年9月期第3四半期 61百万円 (%) 2019年9月期第3四半期 22百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第3四半期	13.42	
2019年9月期第3四半期	0.56	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第3四半期	4,927	3,903	79.2
2019年9月期	5,121	4,002	78.1

(参考) 自己資本 2020年9月期第3四半期 3,900百万円 2019年9月期 4,000百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期		0.00		10.00	10.00
2020年9月期		0.00			
2020年9月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年9月期の1株当たり配当金につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今後の状況次第で変更が必要と判断されたときには、改めて公表いたします。

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2020年9月期の通期連結業績予想につきましては、2020年5月8日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、業績に影響を与える未確定な要素が多く、合理的な業績予想の算定が困難な状況にあるため、2019年11月7日に公表いたしました業績予想をいったん取り下げ、未定としております。今後、合理的な見積りが可能となった時点で、改めて公表いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年9月期3Q	4,398,464 株	2019年9月期	4,398,464 株
期末自己株式数	2020年9月期3Q	667,881 株	2019年9月期	667,881 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年9月期3Q	3,730,583 株	2019年9月期3Q	3,730,583 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多く、合理的な業績予想の算定が困難な状況にあるため、2019年11月7日に公表いたしました業績予想をいったん取り下げ、未定としております。今後、合理的な見積りが可能となった時点で、改めて公表いたします。上記の業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな景気回復が期待されていたものの、消費増税による個人消費の低下、米国の保護主義政策に端を発する貿易摩擦や中国経済の減速などが懸念される中、新型コロナウイルス感染症の発生・拡大、さらに緊急事態宣言の発出による活動自粛などの影響により社会・経済活動が急速に悪化いたしました。

また、当社グループが属する出版業界では、当第3四半期連結累計期間における書籍・雑誌の推定販売金額は前年同期比マイナス3.6%（出版科学研究所）と、新型コロナウイルス感染症による影響も加わり、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、前期に引き続き新しい顧客層の開拓に挑戦し、顧客ニーズを満たすコンテンツ開発、返品減少対策を主要なテーマに活動いたしました。しかしながら、各都道府県知事による外出自粛要請や4月7日の政府による緊急事態宣言の発出などにより、主力販売先である全国各書店のうち、首都圏を中心に多くの店舗が休業等の措置をとったほか、一部通販サイトでの商品調達の麻痺、大学の授業開始の遅れやオンライン化に伴う教材採用の予定変更、各種セミナーの開催延期などによる市場対応として4月、5月に書籍の刊行抑制を行ったことなどもあり、新刊・増刷の点数・部数が減少するとともに製品製造原価及び商品仕入原価などの売上原価が増加いたしました。その結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は2,131百万円（前年同四半期比0.3%減）、営業損失60百万円（前年同四半期は営業損失3百万円）、経常損失63百万円（前年同四半期は経常利益2百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失50百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失2百万円）となりました。

事業別の概況は次のとおりです。

(出版事業)

会計分野では、研究書として『森田哲彌学説の研究』、大学テキストとして『ビギナー原価計算』『英語で学ぶ会計入門』を、また実務書として『新株予約権等・種類株式の発行戦略と評価』『図解でスッキリ時価算定基準の会計入門』を刊行いたしました。

経営・経済分野では、翻訳書として『こころの資本』、研究書として『新産業を生み出す地域社会システム』を、また大学テキストとして『はじめての人間社会学』『地域とイノベーションの経営学』『歴史と理論で考える日本の経済政策』を刊行いたしました。

税務分野では、『検証消費課税論』『持続可能な建物価格戦略』『業績連動・株式報酬制度を導入したい！と思ったとき最初に読む本』『M&A・組織再編成の税務詳解Q&A』を刊行いたしました。

法律分野では、『ハラスメント防止の基本と実務』『基礎からわかる広告・マーケティングの法律』『英文EPC契約の実務』『自動運転・MaaSビジネスの法務』を刊行いたしました。

企業実務分野では、『あなたの会社もブロックチェーンを始めませんか？』『新型コロナウイルス影響下の法務対応』『ケースでわかる実践型職場のメンタルヘルス対応マニュアル』『「採算に乗る事業」の仕組みづくり』『CFO最先端に行く経営管理』『中小・ベンチャー企業CFOの教科書』を刊行いたしました。

資格試験分野では、『AIによる出題予想！宅建士未来問100（令和2年版）』『受験生の知らない公務員試験の裏のウラ』を刊行いたしました。

生活・実用分野では、受注している雑誌など定期刊行物の編集業務が順調に推移いたしました。また、カレンダーのラインナップを拡充したことなどにより業績が改善し、増収、増益となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,046百万円（前年同四半期比0.6%減）、営業損失は78百万円（前年同四半期は営業損失18百万円）となりました。

(出版付帯事業)

出版付帯事業の主力事業は、当社雑誌への広告請負代理ですが、広告媒体が多様化し紙媒体への広告が減少する中、いくつかの新規取引先を開拓いたしました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高は84百万円（前年同四半期比7.7%増）、営業利益17百万円（前年同四半期比24.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結累計期間末における資産合計は4,927百万円となり、前連結会計年度末に比べ194百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金の増加36百万円及び商品及び製品の増加31百万円があったものの、受取手形及び売掛金の減少228百万円及び仕掛品の減少26百万円による流動資産の減少188百万円があったことによるものです。

(負債)

負債は1,024百万円となり、前連結会計年度末に比べ94百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の減少71百万円及び返品調整引当金の減少41百万円による流動負債の減少113百万円、退職給付に係る負債の増加19百万円による固定負債の増加18百万円があったことによるものです。

(純資産)

純資産は3,903百万円となり、前連結会計年度末に比べ99百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の減少87百万円、その他有価証券評価差額金の減少11百万円があったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症による政府の緊急事態宣言が5月25日に解除されたことを受けて社会・経済活動が再開されたものの、いったん落ち着きを見せた新規感染者数が東京をはじめとして全国的に増加しつつある中、依然として予断を許さない状況が続いております。

当社グループの2020年9月期の通期連結業績予想につきましては、2020年5月8日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、業績予想を合理的に見積もることが困難なため「未定」とさせていただきますが、いまだに新型コロナウイルス感染症の収束は見通せず、市場環境の回復には相応の時間を要する見込みであり、今後、合理的な見積りが可能となった時点で、改めて公表いたします。

なお、現時点で、今回の業績予想の修正に伴う配当予想の変更はありませんが、今後の状況次第で変更が必要と判断されたときには、改めて公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,252,915	1,289,887
金銭の信託	600,034	600,042
受取手形及び売掛金	1,027,344	799,294
有価証券	141,682	142,307
商品及び製品	470,133	501,312
仕掛品	77,987	51,520
原材料及び貯蔵品	3,105	1,146
その他	76,455	75,856
貸倒引当金	△2,544	△2,342
流動資産合計	3,647,114	3,459,025
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	90,620	86,151
土地	977,079	980,229
その他(純額)	10,858	9,449
有形固定資産合計	1,078,559	1,075,830
無形固定資産		
投資その他の資産	36,786	34,338
投資有価証券	198,430	173,152
繰延税金資産	93,458	117,177
事業保険積立金	46,621	48,922
その他	20,396	18,850
貸倒引当金	△25	-
投資その他の資産合計	358,883	358,102
固定資産合計	1,474,229	1,468,271
資産合計	5,121,343	4,927,296

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	454,482	382,690
未払法人税等	6,789	9,665
返品調整引当金	85,099	43,793
賞与引当金	48,863	14,322
その他	184,346	215,727
流動負債合計	779,580	666,197
固定負債		
退職給付に係る負債	321,605	341,077
その他	17,850	16,897
固定負債合計	339,455	357,974
負債合計	1,119,036	1,024,172
純資産の部		
株主資本		
資本金	383,273	383,273
資本剰余金	203,710	203,710
利益剰余金	3,669,552	3,582,176
自己株式	△299,711	△299,711
株主資本合計	3,956,824	3,869,449
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,232	31,389
その他の包括利益累計額合計	43,232	31,389
非支配株主持分	2,249	2,285
純資産合計	4,002,306	3,903,124
負債純資産合計	5,121,343	4,927,296

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2020年6月30日)
売上高	2,137,169	2,131,177
売上原価	1,469,714	1,523,661
売上総利益	667,455	607,516
返品調整引当金戻入額	45,170	41,306
差引売上総利益	712,625	648,822
販売費及び一般管理費	716,545	709,230
営業損失(△)	△3,920	△60,408
営業外収益		
受取利息	587	554
受取配当金	10,403	9,094
為替差益	-	14
その他	764	1,205
営業外収益合計	11,754	10,870
営業外費用		
投資有価証券評価損	4,478	13,824
為替差損	398	-
営業外費用合計	4,877	13,824
経常利益又は経常損失(△)	2,956	△63,362
特別利益		
固定資産売却益	-	49
特別利益合計	-	49
特別損失		
固定資産除却損	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,956	△63,312
法人税、住民税及び事業税	6,616	10,907
法人税等調整額	△1,584	△24,188
法人税等合計	5,032	△13,281
四半期純損失(△)	△2,075	△50,031
非支配株主に帰属する四半期純利益	31	35
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,106	△50,066

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△2,075	△50,031
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,713	△11,843
その他の包括利益合計	△20,713	△11,843
四半期包括利益	△22,788	△61,874
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△22,819	△61,909
非支配株主に係る四半期包括利益	31	35

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、当社及び子会社5社で構成され、主に企業経営全般及びその他分野に関する専門書籍、雑誌の出版・販売を行う出版事業と広告請負代理等を行う出版付帯事業からなっております。広告請負代理は当社グループの発行する雑誌に掲載する広告を請け負っているものであり、雑誌制作全体から見ると一体のものであるといえます。また、当社グループは、全セグメントに占める「出版事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、事業セグメントは単一と判断し、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。